



修郎先生の事件簿2

小池雄一氏

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生界最大の直接選挙だと
言われてい
るね。1月
7日にも3
人の大統領
候補者によ
る2回目の
テレビ討論
(ディベー
ト)が行わ
れた。有権

や施策に対する有権者の理解も深まって行く事を祈つてゐるよ。でも、逆に国民の「分断」につながる恐れもあるよね。

佐生修郎 心得の条

一 地球全体が総選挙の年、インドネシアでも大統領選挙がある。何があつても慌てずに済むように、例年よりもパスポートの所在に気をかけておくこと。

二 これから未来の世代の為にインクルーシブな人になるべく、日頃からパラダイムチエンジやバイアスの除去に心掛けること。特に団塊の世代、団塊ジュニアとバブル世代の人達は。

「互いに尊敬しあい、互いに価値を認め合おう」ってことだね。

ううつ、インクル
ーシブ? 我々バブル世代
にとっては聞き慣れない言
葉だ。勉強家の団塊の世代
や団塊ジュニアでも知らな
い人が大勢いるのではない
かな。

大谷 インドネシア人は無意識でそんな考え方をしているよね。僕たち乙世代は、そんな風土に魅かれるんだ。だって僕たちは「インクルーシブな人が集う世界」を望んでいるのだから。

佐生　自分が見えている世界が全てではない。相手が見ている別の世界もある

佐生 一度「分断」が起
こると国内不安になるか
ら注意が必要だ。外国人の
我々は、何があつても慌て
ずに済むようにパスポート
の所在を例年より気にかけ
ておくことが肝要だ。

大谷 「分断」の心配は
あるにはあるけど、インド
ネシアは多様性の国だから
大丈夫じゃないかな。理解
し合う努力は怠らない、で
もしかし「違い」がある事
を認める。加えて、何処ま
で行っても分かり合えない

た事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象は「フイクション」です。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

こいけ・ゆういち F
PCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ビー・エム入社。フジスタッフへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。57歳。

う乙世代のためにも我々がインクルーシブな人になれよう、変わるべきは変わらぬべきは変わらぬという精神でやっていくことが肝要だ。それを年頭所感としておこう。

ムあるいはバイアスを通じて物事を観察してしまうのだよ。それが原因で、現実を見誤つたり目の前の状況を受け入れられなかつたりする。つまり知らず知らずのうちにインクルーシブな人ではなくなっている。

大谷 なんだ、ちゃんと自己分析と自己理解ができるているね。それなら話が早い。バイアスが掛からないように気を付け、パラダイムを入れ替える努力をする。それだけだよ。

佐生 それだけって。それが難しいのだよ。でも、乙世代の翔平君から学びを得た。これから次元を